

アメリカ革命を考える



2025年7月17日(木) 16:40-18:10

同志社大学烏丸キャンパス志高館SK110

対面のみ・参加無料・どなたでもご参加いただけます

講師：上村 剛（かみむら・つよし）氏

関西学院大学法学部・准教授

講師略歴

1988年生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。現在、関西学院大学法学部准教授。専門は西洋政治思想史。主な著書に『権力分立論の誕生』（岩波書店、2021年、サントリー学芸賞受賞）、『アメリカ革命』（中公新書、2024年）ほか。

講演要旨：

本講演では、アメリカの建国を、1787年の連邦憲法制定を中心に論じる。アメリカの建国は近年「アメリカ革命」と呼ばれることが増えたが、それはなぜか。長い人類史のなかでアメリカ建国のもつユニークさは、国家創設にあたり、憲法を成文化した点に求められるからである。アメリカの独立から連邦憲法の制定まで、建国者たちが夢みた価値とはなんだったのか、それは21世紀の今日どのように継承されているのかを、いまあらためて建国期に立ち返ることで検討したい。

問い合わせ：同志社大学アメリカ研究所事務室（ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp）

※合理的配慮が必要な方は問い合わせ先までご連絡ください。

同日開催：同志社大学アメリカ研究所ブラウンバッグシリーズ『憲法と政治思想からアメリカを考える：『アメリカ革命』（中公新書）、『眠れる主権者』（勁草書房）

合評会』 登壇者：上村剛、春山習（日本大学）、川鍋健（アメリカ研究所）

同志社大学烏丸キャンパス志高館SK110 14:00-16:00